

## 天声人語

国語が好きなら作家や編集者や書店員に。数学が好きなら例えは金融業界へ。村上龍さんが2010年に出した『新13歳のハローワーク』は、好きな教科を入り口にして自分に向いていれる職業を探す趣向だ▼道徳の授業が好きで「眠くならない」13歳向けには、数ある中に弁護士、裁判官、検察官が紹介されている。何が正しいか正しくないかを考え、社会の役に立ちたい。議論し、意見を言うのが好き。そんな志向を持つ子は確かに法曹に天職を見いだすこともあるだろう▼法曹への関門である司法試験で大きな不祥事が発覚した。明治大学法科大学院の教授が、問題の内容を自分の教え子に事前に漏らしたという。教授は試験の問題づくりなどをする考查委員を長く務めていた▼法と正義を担うべき専門職の選抜である。志ある多くの挑戦者が涙をのむ指折りの難関でもある。そんな登竜門での不正に驚かざるをえない。他の受験生から怒りや不満の声が出るのも当然だ。考查委員のあり方に問題はないか▼法科大学院という仕組みは司法制度改革の目玉の一つとして発足したが、年々志願者が減っている。司法試験の合格実績は芳しくなく、受かっても就職が難しい現実もある。政府は立て直し方針を決めたが、今回の事態は大学院離れに追い打ちをかけかねない▼ちなみに村上さんの本は、道徳の授業で眠くならない13歳向けに大学教授も挙げている。何が正しいか正しくないか。明治大の教授はどこで判断を誤ったのだろうか。